

さくら色 オカンの嫁入り(シーエイティブロデュース)

# 言わせて! 今日の芝居

五十字劇評 No.9

## 【二〇〇代】

たくさんの笑顔に癒され、桜景色に暖かさを感じました。笑いあり、涙ありの2時間半!大満足でした。(女性)

月子の激変ぶりをはじめ、人物に内面の葛藤等が感じられず、芝居全体をきれいに見せようとしてどこか現実離れ。(男性)

## 【五〇〇代】

どこに焦点を置いた芝居だったのか?商業演劇の限界?もつと良い話だと思っただけどつまらない舞台になってしまったのは残念!!(女性)

新喜劇か人情コメディかが、研二役に肩すかし。月子の悲しい過去、研二の祖父の話。犬を人間が演ずるの妙も。(女性)

## 【六〇〇代】

一番感動したのは最後の桜、わーきれいとおもわず声が出そうになりました。映画のオカンの嫁入りをテレビで放送してしまいましたので、見てがっかり、何てつまらない、でも生お芝居と映画では、内容も違い思わず笑ったり・ドキッとしたりしました。感想会で初めて知りましたが主役はオカンでも娘の月子でもないことを、聞いてびっくりでした。(女性)

最後の桜に思わず声を上げた。拍手が会場で1つとなつて、更に満足!(女性)

世の中の不幸にあつてもめげずに明るく生きる。たすけ合い、心の傷にもたち向かい未来を開く。気持のよいしばいでした。(女性)

はじめは違和感のあつた「犬」が、いつの間にかペットらしく感じられて面白かつた。心持ちの広い年寄でありたい。(女性)

みんなそれぞれ、重い荷を背負ってるんだ。みんな頑張ってるんだ。だからこそ、思いやりが、相手の身になって考えることが必要なんだと思う。ラストの桜が眩しかったあ!(男性)

大阪下町の人情芝居つて、フワフワして、やわらかく、優しく思いやりに満ちていた。ラスト、春まだ遠い北国の街にも満開の桜が咲きました。(女性)

生きていく中でぶつかる重いテーマを、いわゆる「笑い」というオブラートに包んで考えさせてくれた。人は人との関わりの中で生きていくと。でも、今はどうだろう。私はとても生きづらさを感じてる。人つてもつと優しいはずなのに、社会自身が病んでいっているのか。(男性)

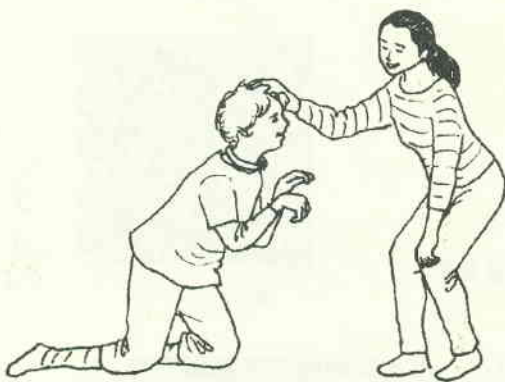
最初はどんな物語かと思ひ、見ていました。私には年下のどんな様なんて考えられませんでした。しかしこの世にはいろいろな事があることを知りました。(女性)

泣かされるお芝居だったとは:みんな誰かを思いやっているのにどうにも出来ない悲しさも人の常。

大切なものはやっぱり愛と実感。人に寄りそう犬の気持ちもきつとあんな感じかなと。(女性)

普段の何気ない毎日の幸せな暮らしにこそ意味がある、ということとを改めて考えさせてくれる作品。ハチと桜満開のラストシーンが印象的。(男性)

人生の様々な苦難の中で懸命に生きていく主人公達の姿に感動した。ただ多くの困難を持ち出した分、各々の出来事が少々うすつぱらくなつていた。(男性)





みんな、つらい過去があるのに  
明るいのはなぜ？それだけに前向  
きの言葉で涙ポロポロ！咲いた桜  
は生命力！

【七〇代】

笑わせて、ホロリとさせて、又  
笑わせて。最後に圧巻の桜。期待  
以上の役者の皆さんの演技。10  
0%満足しました。(女性)

「たまには、こういう楽しくて  
ホロツと来る芝居もいいかな？」  
って感じてました。大竹しのぶの映  
画を楽しんだクチですがそういう  
ヤカラも楽しませてくれた芝居で  
した。(男性)

映画・演劇それぞれ面白かった。  
搬出の際、作業員の方が上手な足  
サバキでカーペットを巻くのが芝  
居と共に感心。(女性)

犬のハチもなかなかいい感じ。  
祖父の方の声がこれまた素敵で声  
でウツトリ。最後の桜の景色には  
アツと驚き大拍手。(女性)

白むく姿での登場(金屏風でイ  
ンパクトあり)。最後の桜のシーン、  
旭川に一足早い春が！元氣もらえ  
ました。(女性)

編集スタッフから

運営サークル会議の時、ある会  
員の方から、「優れた芝居」とい  
うのは、芝居の向こうに自分の姿が  
見えてくるような芝居」というお  
話を伺ったことがあります。

私なりに解釈しますと、「芝居  
の中に自分を置いて、その状況の  
中で、自分だったらこのように考  
え行動するのではないかというこ  
とを深く考えさせてくれる。芝居  
にはそのような力がある」という  
ことではないかと思えます。「劇  
評集」を通して、そのようなこと  
を考えるきっかけになればと思  
います。そのためには、みなさんか  
らのもつとたくさんさんの投稿をお待  
ちしています。

50字劇評「言わせて！今日の芝居」に投稿を！

ここは、会員が「芝居を自由に語る場」です。率直な感想をお寄せください。

署名 “不要” です。ただし、編集の都合上、「男女」・「～歳代」だけは記入を！

字数 “50字” です。多くの会員の声を掲載したいからです。ご理解を！

締切 5月29日(金)

送付方法

メール： asa.gekijo.gekiyou@gmail.com  
(劇評専用アドレス)

FAX： 0166-23-1645  
(市民劇場 FAX: 劇評担当宛)

郵送・持参： 〒070-0033  
旭川市3条通8丁目 緑橋ビル1号館 2F  
旭川市民劇場 劇評担当宛



劇評QRコード

(郵送・FAX・持参の場合、原稿用紙・便せんなど、どんな用紙でも結構です。)